令和７年４月入学

新潟大学大学院医歯学総合研究科
口腔生命福祉学専攻【博士後期課程】
〈第１次募集・第２次募集〉

学 生 募 集 要 項

（一　般　選　抜
社会人特別選抜
進　学　者　選　考）

新潟大学大学院医歯学総合研究科

○入試日程

	第１次募集	第２次募集
資格審査確認期限 （該当者のみ）	令和６年 10 月３日（木） 【必着】	令和６年 12 月 13 日（金） 【必着】
出願期間	令和６年 10 月 21 日（月） ～10 月 24 日（木） 【必着】	令和７年１月７日（火） ～１月９日（木） 【必着】
試験日	令和６年 11 月 15 日（金）	令和７年２月５日（水）
合格発表	令和６年 12 月 10 日（火）	令和７年３月 10 日（月）
入学手続期間	令和7年2月 14 日(金) ～2月 18 日(火)	令和7年3月 14 日(金) ～3月 18 日(火)

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では，災害等の被災者の経済的負担を軽減し，進学機会の確保を図るため，入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など，免除に関する詳細については，本学ホームページ「受験生特設サイト」をご覧ください。

受験生特設サイト：https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/

※本募集要項の内容に変更が生じた場合は，下記ホームページにて周知しますので，出願前や受験前は特にご注意願います。

https://www.dent.niigata-u.ac.jp/admissions/graduateschool/ohw-doctor/requirements/

※入学志願者で，障がい等があり，受験上及び修学上の配慮を必要とする方は令和６年 10 月３日（木）までに下記問合せ先へ電話にて相談願います。

問合せ先
〒951-8514 新潟市中央区学校町通２番町 5274 番地
新潟大学歯学部学務係
電話 (025)227-2798・2799

目　　次

Ⅰ．令和７年４月入学試験（一般選抜・社会人特別選抜）・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
Ⅱ．進学者選考　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
Ⅲ．新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）
入学・進学案内・・・・　１３
Ⅳ．授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）アドミッション・ポリシー

（1）入学者に求める資質・能力（求める学生像）

口腔保健・医療福祉分野に従事する専門家として求められるより専門的な教養とコミュニケーション能力などの資質とともに，専門科目の履修に必要な学力を有した上で，生命科学一般及び保健医療福祉に関する基本的理解に立脚した，専門分野への深い関心と高い目的意識を持ち合わせた学生を求める。

（2）選抜方法

本専攻が目指す学際的研究の自律的な遂行と新たな学問体系の確立，あるいは地域・国際社会における先駆的実践に高い意志を持ち，口腔を中心とした生命医療科学および保健・医療・福祉に関する基本的理解とともに，修学および研究の遂行に必要な一般教養，コミュニケーション能力，語学力を有する人を選抜する。

一般入試個別学力検査では，研究に必要な語学力については筆記試験（「英語」試験）にて，また口腔保健福祉学領域に対する関心・目的意識および知識・理解については口述試験により評価している。

「英語」試験では英文読解および和文記述力とともに，口腔保健福祉学領域に関する基礎的理解度を問う問題としている。口述試験では口腔保健福祉学に関する専門知識と技能に関する口頭試問試験を行うとともに，目的意識・意欲，コミュニケーション力および進取性・主体性・協調性を総合的に評価している。

社会人特別入試個別学力検査では，口述試験による口腔保健福祉学に関する専門知識と技能に関する口頭試問試験と合わせ，英論文を提示し，英語読解力を評価している。あわせて，目的意識・意欲，コミュニケーション力および進取性・主体性・協調性を総合的に評価している。

Ⅰ．令和７年４月入学試験（一般選抜・社会人特別選抜）

○令和 7 年 4 月入学　新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）の学生を,次のとおり募集します。

1.専攻及び募集人員

口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）　3 人

第 1 次募集，第 2 次募集をあわせた募集人員です。募集人員の中には，一般選抜及び社会人特別選抜を含みます。第 1 次募集で定員に達した場合は，第 2 次募集は実施しない可能性があります。

２.出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

なお，社会人特別選抜に該当する者とは，原則として入学時に保健医療福祉施設，教育研究機関，行政機関等において，3 年以上相当の保健医療福祉に関する実務経験（通算可）を有する者で，次の各号のいずれかに該当し，入学後もその身分を継続するものとする。

また，社会人特別選抜に関して不明な点がある場合は「３.出願資格の確認(6)提出先」に問い合わせてください。

(1)　修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下に同じ。）を有する者及び令和 7 年 3 月までに授与される見込みの者

(2)　外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月までに授与される見込みの者

(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月までに授与される見込みの者

(4)　我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月までに授与される見込みの者

(5)　大学を卒業し，大学，研究所等において，2 年以上研究に従事したもので，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(6)　外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2 年以上研究に従事したもので，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(7)　本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，令和 7 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

※　出願資格の(2),(3)及び(5)～(7)のいずれかに該当する者は，個別に資格確認又は審査を行うので「３.出願資格の確認」を参照の上，資格審査申請期限までに申請書類を提出してください。

３.出願資格の確認

「２　出願資格」の(2),(3)及び(5)～(7)のいずれかに該当する者は，次により出願資格の確認を受けてから出願してください。

(1)提出書類等

次ページ以降の「各出願資格について」を参照してください。

なお，外国語で作成された書類には，日本語の訳文を必ず添付してください。

(2)提出方法

出願資格の審査書類は，持参（午前8時30分から午後5時までの，土曜日，日曜日及び祝日を除く。）または，郵送により送付してください。

(3)提出期限

第１次募集	令和６年10月３日（木）【必着】
第２次募集	令和６年12月13日（金）【必着】

(4)出願資格審査

出願資格審査については，提出された申請書類により行います。

(5)出願資格審査結果の通知

出願資格審査の結果は，出願期間開始前までに，本人あて郵送により通知します。出願資格を認定された申請者は，出願手続を行ってください。

(6)提出先

〒951-8514 新潟市中央区学校町通２番町 5274 番地

新潟大学歯学部学務係

電話 (025)227-2798・2799

〇各出願資格について

資格審査に必要な書類は，該当する資格によって異なります。

書類の所定の様式については，新潟大学歯学部・大学院医歯学総合研究科（歯学系）のホームページ（https://www.dent.niigata-u.ac.jp）に掲載されているので，各自で印刷して使用してください。

・出願資格(2)(3)により，出願する場合

提出書類等	摘　　要
①　出願資格認定申請書	ホームページ掲載の所定の様式を印刷の上，使用してください。
②　最終学歴の修了（見込み）証明書	最終出身（在籍）大学院の研究科長（又は学長）が発行したものを提出してください。
③　成績証明書	
④　在留カードの写し又はパスポートの写し（外国人出願者のみ）	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が掲載されているページ）を提出してください。
⑤　返信用封筒	市販の長形３号封筒に申請者の郵便番号，住所，氏名を明記し，郵便切手 410 円分を貼付してください。

※　②，③については，本物を提出し，必ず和文訳を添付してください。

・出願資格(5)～(7)により，出願する場合

提出書類等	摘　　要
①　出願資格認定申請書	ホームページ掲載の所定の様式を印刷の上，使用してください。
②　成績証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
③　卒業（修了）証明書	
④　返信用封筒	市販の長形３号封筒に申請者の郵便番号，住所，氏名を明記し，郵便切手 410 円分を貼付してください。
⑤　研究計画書	ホームページ掲載の所定の様式を印刷の上，使用してください。
⑥　修士論文要旨又は研究経過報告書	
⑦　研究業績等調書	ホームページ掲載の所定の様式を印刷の上，使用してください。なお，記載した論文，研究発表等の写しを提出してください。

４.出願手続

(1)出願期間

第１次募集	令和６年 10 月 21 日（月）～10 月 24 日（木）【必着】
第２次募集	令和７年１月７日（火）～１月９日（木）【必着】

（注）　出願に際しては,あらかじめ希望する研究テーマ等について確認を行うため,下記連絡先教員のいずれかに問い合わせのうえ，出願してください。

＜問い合わせ先＞

福祉学領域　　大内　章嗣　ohuchi@dent.niigata-u.ac.jp　(025) 227-0551

口腔保健学領域　葭原　明弘　akihiro@dent.niigata-u.ac.jp　(025) 227-0906

(2)出願書類等

入学志願者は，(2)の出願書類等を取りそろえ，(3)の出願書類等提出先に持参又は郵送（書留速達)により提出してください。持参する場合の受付時間は,午前８時 30 分から午後５時までとします。なお郵送する場合は，新潟大学歯学部・大学院医歯学総合研究科（歯学系）ホームページ（https://www.dent.niigata-u.ac.jp）から「出願書類提出用封筒宛名」をカラー印刷の上，必要事項を記入し，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）に貼付したものを使用し，出願期間内に必着となるように書留速達により郵送してください。

出願書類の所定の様式については，新潟大学歯学部・大学院医歯学総合研究科（歯学系）のホームページ(https://www.dent.niigata-u.ac.jp)に掲載されているので,各自で印刷して使用してください。

出　願　書　類　等	摘　　要
①　入学志願票 受　験　票 写　真　票	ホームページ掲載の所定の様式を印刷の上，必要事項を記入し，顔写真（縦 4cm×横 3cm）及び「検定料納付証明書（新潟大学提出用)」を所定欄に貼付してください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
②　検　定　料 (30,000 円)	ホームページ掲載の所定の様式を印刷の上，必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し，窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。 なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。 ①　依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ②　検定料の振込みは，下記の期間内に必ず行ってください。(※土・日曜日・祝日の振込みはできません。) **第１次募集** 令和６年 10 月 15 日（火）～10 月 24 日（木）【必着】 **第２次募集** 令和７年１月６日（月）～１月９日（木）【必着】 ③　ＡＴＭ（現金自動預払機）での振込みはできません。

③　検定料納付証明書（新潟大学提出用）		金融機関から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄に貼付してください。 ※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。
④最終学歴の修了証明書（右のいずれか）	修了（見込み）証明書※	出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの。
	卒業証明書※	出身大学の学部長（又は学長）が作成したもの。
	学位授与証明書又は学位申請受理証明書	大学改革支援・学位授与機構が作成したもの。
⑤　成績証明書※		出身学校長（研究科長，学部長等）が作成し厳封したもの。
⑥　返信用封筒		ホームページ掲載の「返信用封筒宛名」をカラー印刷の上，郵便番号，住所，氏名を記入し，市販の長形３号封筒（120㎜×235㎜）の表面に貼付したものに，郵便切手 410 円分を貼付して提出してください。
⑦　あて名票		ホームページ掲載の様式を印刷の上，郵便番号，住所，氏名を記入し，提出してください。
⑧　修士論文等		修士の学位を有する者は，修士論文の写し及び論文の要旨（ホームページ掲載の様式で 2,000 字程度）各 1 部。 また，専門職学位を有する者で，修士論文に相当する論文を有する場合は，当該論文の写し 1 部。
		修士課程修了見込みの者及び出願資格の（4）～（7）により出願する者は，研究経過報告書（ホームページ掲載の様式で 2,000 字程度）
⑨　研究計画書※		ホームページ掲載の様式
⑩　研究業績等調書　（社会人特別選抜のみ）※		ホームページ掲載の様式。社会人特別選抜に出願する者は提出してください。
⑪　受験承諾書（社会人特別選抜のみ）		出願時に在職中の者は，ホームページ掲載の所定様式を印刷の上，**所属長の公印**で承諾されたものを提出してください。
⑫　在留カードの写し又はパスポートの写し※		外国人出願者のみ必要です。在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が掲載されているページ）を提出してください。
⑬　戸籍抄本等の写し（該当者のみ）		最終出身学校を卒業・修了等の後に改姓をされた場合は，戸籍抄本等改姓の事実が証明できるものの写しを提出してください。

（注 1）　出願書類等提出後は，記載事項の変更は認めません。

（注 2）　出願書類⑪の承諾書の印は，個人印・社印ではなく，社長・支店長等の，職を表す印に限ります。

（注 3）　※印の出願書類については，出願資格確認の際に提出した場合，再度提出する必要はありません。

(3)出願書類提出先

〒951-8514　　新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地

新潟大学歯学部学務係　電話　025-227-2798・2799

５.選抜方法

入学者の選抜は，学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類により行います。

(1)一般選抜

試験期日	時間	試験内容	試験場
第１次募集 令和６年 11 月 15 日（金） 第２次募集 令和７年２月５日（水）	13:00～ 14:30	外国語（英語）	新潟大学歯学部
	15:00～	口述試験	

（注）　外国語（英語）については，本専攻の履修に必要な基本的英文読解力を問うものです。
辞書の持ち込みは可とします。ただし，電子辞書，医学辞書（辞典）及び歯学辞書（辞典）は不可とします。
口述試験については，本専攻の関連分野についての知識を問うものです。

(2)社会人特別選抜

試験期日	時間	試験内容	試験場
第１次募集 令和６年 11 月 15 日（金） 第２次募集 令和７年２月５日（水）	13:00～	口述試験	新潟大学歯学部

（注）　口述試験については，本専攻の関連分野についての知識を問うとともに，外国語（英語）の学力も試験します。

６.合格者の発表及び入学手続

(1)合格者の発表

第１次募集	**令和６年 12 月 10 日（火）午前 10 時**
第２次募集	**令和７年３月 10 日（月）午前 10 時**

上記日時に合格者の受験番号を新潟大学歯学部・大学院医歯学総合研究科（歯学系）のホームページ（https://www.dent.niigata-u.ac.jp）にて発表します。

また，発表と同時に，合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお，合否に関しての電話等による問い合わせには，一切応じません。

(2)入学手続

入学手続の概要は，次のとおりです。詳細については，合格者に別途通知します。

①入学手続期間

第１次募集	**令和７年２月14日（金）～2月18日（火）【必着】**
第２次募集	**令和７年３月14日（金）～3月18日（火）【必着】**

持参又は郵送（書留速達）により行います。持参の場合の受付時間は午前８時30分から午後５時までとなります。なお，土・日曜日・祝日は受付を行いません。

②入学に要する経費

入学料　　282,000円〔予定額〕

（注）入学料免除希望者は，入学手続時に入学料を納付しないでください。

７.授業料

年額　535,800円（前期分　267,900円，後期分　267,900円）〔予定額〕

（注１）授業料は，入学後，口座引き落としにより納付していただく予定です。

（注２）授業料の納付方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注３）在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

８.その他

(1)　出願書類等提出後は，記載事項の変更は認めません。

(2)　既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。

ただし，検定料振込み後，出願期間内に出願書類等を提出しなかった場合は，当該検定料（30,000円）を返還します。検定料の返還については，下記をご参照ください。

https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/

（新潟大学ホームページ→入試情報→納付済検定料返還手続）

なお，返還対象となった日から５年以内に返還の申し出がない場合は，返還請求を辞退したものとさせていただきます。

Ⅱ. 進学者選考

１.出願資格

新潟大学大学院修士課程，博士前期課程又は専門職学位課程を，令和７年３月修了見込みの者

２.出願手続

(1)出願期間

第１次募集	令和６年 10 月 21 日（月）～10 月 24 日（木）【必着】
第２次募集	令和７年１月７日（火）～１月９日（木）【必着】

(2)出願書類等

入学志願者は，(2)の出願書類等を取りそろえ，(3)の出願書類等提出先に持参又は郵送（書留速達）により提出してください。

なお郵送する場合は，新潟大学歯学部・大学院医歯学総合研究科（歯学系）ホームページ（https://www.dent.niigata-u.ac.jp）から「出願書類提出用封筒宛名」をカラー印刷の上，必要事項を記入し，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）に貼付したものを使用し，出願期間内に必着となるように書留速達により郵送してください。

出願書類の所定の様式については，新潟大学歯学部・大学院医歯学総合研究科（歯学系）のホームページ(https://www.dent.niigata-u.ac.jp)に掲載されているので，各自で印刷して使用してください。

出　願　書　類　等	摘　　要
①　入学志願票	ホームページ掲載の所定の様式
②　受　験　票 　　写　真　票	ホームページ掲載の所定の様式を印刷の上，必要事項を記入し，顔写真（縦 4cm×横 3cm）を所定欄に貼付してください。
③　修了見込証明書	研究科長が作成したもの（本学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）修了見込み者は提出する必要はありません。）
④　成績証明書	研究科長が作成し，厳封したもの（本学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）修了見込み者は提出する必要はありません。）
⑤　返信用封筒	ホームページ掲載の「返信用封筒宛名」をカラー印刷の上，郵便番号，住所，氏名を記入し，市販の長型３号封筒（120㎜×235㎜）の表面に貼付したものに，郵便切手 410 円分を貼付して提出してください。
⑥　あて名票	ホームページ掲載の様式を印刷の上，郵便番号，住所，氏名を記入し，提出してください。
⑦　研究経過報告書	ホームページ掲載の所定の様式で 2,000 字程度
⑧　研究計画書	ホームページ掲載の所定の様式

⑨　在留カードの写し又はパスポートの写し（外国人出願者のみ）	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が掲載されているページ）を提出してください。
⑩　戸籍抄本等の写し（該当者のみ）	最終出身学校を卒業・修了等の後に改姓をされた場合は，戸籍抄本等改姓の事実が証明できるものの写しを提出してください。

(3)出願書類提出先

〒951-8514　新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地
新潟大学歯学部学務係
電話　025-227-2798・2799

(4)出願にあたっての注意事項

① 検定料は不要です。
② 入学志願者で，障がい等があり，受験上及び修学上の配慮を必要とする方は，出願前に新潟大学歯学部学務係（(025) 227-2798・2799）に相談してください。
③ 出願書類等提出後は，いかなる理由があっても書類の返却，記載事項の変更は認めません。
④ 出願書類に虚偽の記載内容があった場合には,進学後においても進学が取り消されることがあります。
⑤ 提出された出願書類等及び記載されている個人情報は，進学者選考に係る業務に使用します。また，出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績については，進学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請書）,③授業料等に関する業務を行うために利用します。

３ .進学者選考の方法

進学者の選考は,学力検査等（外国語「英語」，口述試験）及び出願書類により総合的に判定します。

試験期日	時間	試験内容	試験場
第１次募集 令和６年 11 月 15 日（金）	13:00～ 14:30	外国語（英語）	新潟大学歯学部
第２次募集 令和７年２月５日（水）	15:00～	口述試験	

※ 外国語（英語）については，本専攻の履修に必要な基本的英文読解力を問うものです。
辞書の持ち込みは可とします。ただし，電子辞書，医学辞書（辞典）及び歯学辞書（辞典）は不可とします。
口述試験については，本専攻の関連分野についての知識を問うものです。
（注 1）受験に際しては,受験票を必ず持参してください。
（注 2）受験者は,試験開始 20 分前までに集合してください。

４.合格発表

(1)合格者の発表

第１次募集	**令和６年 12 月 10 日（火）午前 10 時**
第２次募集	**令和７年３月 10 日（月）午前 10 時**

上記日時に合格者の受験番号を新潟大学歯学部・大学院医歯学総合研究科（歯学系）のホームページ（https://www.dent.niigata-u.ac.jp）にて発表します。

また，発表と同時に，合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお，合否に関しての電話等による問い合わせには，一切応じません。

５.進学手続等

進学手続の概要は,次のとおりです。詳細については，合格者に別途通知します。

(1)進学手続期間

第１次募集	**令和 7 年 2 月 14 日（金）～2 月 18 日（火）【必着】**
第２次募集	**令和 7 年 3 月 14 日（金）～3 月 18 日（火）【必着】**

①持参又は郵送（書留速達）により行います。持参の場合の受付時間は午前８時 30 分から午後５時までとなります。なお，土・日曜日・祝日は受付を行いません。

②上記期間内の進学手続きを完了しない場合，進学辞退として取り扱います。

(2)入学料

入学料は不要です。

(3)授業料について

年額　535,800 円（前期分　267,900 円，後期分　267,900 円）〔予定額〕

（注１）授業料は，入学後，口座引き落としにより納付していただく予定です。

（注２）授業料の納付方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注３）在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

Ⅲ．新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）入学・進学案内

１　履修方法及び学位授与

必修コースワーク科目から 4 単位，専門展開科目から 4 単位以上及び研究指導 4 単位の合計 12 単位以上を修得しなければなりません。

本研究科に 3 年以上在学して，所定の単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，学位論文の審査及び最終試験に合格した者に博士（口腔保健福祉学）又は博士（学術）の学位を授与します。

２　入学料免除及び徴収猶予

次に該当する者で，入学料の免除又は徴収猶予を願い出た者については，選考の上，入学料の全額若しくは半額を免除し，又は徴収猶予することがあります。

(1) 入学料の免除対象者

・経済的理由により，入学料の納入が著しく困難であり，かつ，学業優秀と認められる者

・入学前１年以内において，本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納入が著しく困難であると認められる者

・上記に準ずる場合であって，相当の事由があると認められる者

(2) 入学料の徴収猶予対象者

・経済的理由により，納入期限までに入学料の納入が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者

・入学前１年以内において学資負担者が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，納入期限までに入学料の納入が困難であると認められる者

３　授業料免除及び徴収猶予

次に該当する者で，授業料の免除又は徴収猶予を願い出た者については，選考の上，授業料の全額若しくは半額を免除し，又は徴収猶予することがあります。

(1) 授業料の免除予対象者

・経済的理由により，授業料の納入が困難であり，かつ，学業が優秀であると認められる者

・入学前１年以内において学資負担者の死亡，風水害による災害等の特別な事情により授業料の納入が著しく困難な者

(2) 授業料の徴収猶予対象者

・経済的理由その他により，納入期限までに授業料の納入が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者

・学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け，納入期限までに納入が困難であると認められる者

４　奨学金制度

日本学生支援機構には，学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し，奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は，次のとおりです。

この奨学金は，本人の申請に基づき，学業成績，研究能力及び経済的事情を審査し，選考の上，適格者を日本学生支援機構に推薦し，決定されるものです。

貸与月額（令和６年度の場合）

第一種（利息の無いタイプ）　80,000 円，122,000 円から選択

第二種（利息が付くタイプ）　5 万円，8 万円，10 万円，13 万円，15 万円から選択

５　学研災付帯学生生活総合保険

この制度は，学生生活全般を補償するもので，感染予防費用（針刺し時に講じた予防措置費用の健康保健等の自己負担分）や，損害賠償金（学生生活において偶然に発生した自己により他人にケガをさせたり，財物等を損壊して支払わなければならない賠償金）にも対応可能な補償内容となっております。詳細については，後日合格者に送付する「入学案内」で周知します。

６　大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 14 条に定める教育方法の特例について

社会人が大学院博士後期課程で学ぶ場合，現在の職業を退職あるいは休職しない限り大学院に入学し所定の単位を修得し，学位を取得することは困難であります。

そこで，本大学院医歯学総合研究科では，このような社会人に対し，大学院設置基準第 14 条「大学院の課程においては教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」という規定を導入して教育方法の特例を実施しております。

この特例により，社会人学生は，それぞれのテーマに応じ，指導教員と協議の上，通常の時間帯における授業のほか，夜間その他特定の時間又は時期における授業による単位修得の便宜を受けるとともに研究を継続させ，博士論文を作成することになります。

特例を受けようとする者は，入学後，研究科長に特例適用の申請を行わなければなりません。

７　長期にわたる教育課程の履修について

この制度は，学生が職業を有しているなどの理由により，標準修業年限（３年）を超えて４年又は５年にわたり計画的に教育課程を履修し，修了することができる制度です。なお，申請が認められた場合の授業料については，学生の負担軽減を図る観点から，標準修業年限の授業料総額を希望する在学年限で分割して納めることとなります。

８　入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1)　出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学者選抜方法等における調査・研究，分析及び④これらに付随する業務を行うために利用します。

(2)　入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究，分析を行うために利用します。

(3)　出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は，合格者のみ入学手続関係（入学料，授業料等），教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等）に関する業務を行うために利用します。

なお，個人情報のうち，合格者の氏名及び住所については，本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

Ⅳ．授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称・単位	講義等の内容	備考
必修コースワーク科目（４単位）	口腔保健福祉学研究 ベーシックコース ２単位	（概要） 口腔保健福祉学分野における学際的研究を実践していくための基盤となる口腔保健医療福祉の現状と課題，医療倫理，感染予防等について理解するとともに，同分野における主要な研究テーマについての国内外の論文等の批判的論考を通じ，口腔保健医療福祉分野における研究を遂行するにあたって必要となる基本的知識および応用力を体系的に修得する。 （オムニバス方式／全１６回） （大内章嗣／３回） 口腔保健医療福祉を取り巻く社会背景および医療保険制度，介護保険制度を含む関連社会保障制度の動向について概説するとともに，これらと口腔保健との関わりについて最新の知見を踏まえ論究する。 （小川祐司／１回） 途上国支援を中心とした国際口腔保健施策の枠組みと近年の課題および対策の動向について概説するとともに，これを支える国際口腔保健研究の現状について，最新の研究成果を踏まえ論究する。 （大内章嗣／２回） 生命科学領域における生命倫理上の問題について，内外の事例，学説，法制度，社会的背景等について事例検討をもとに学修する。 （小野和宏／２回） 口腔保健管理を進めていくために必須の知識・技術である感染予防および救急蘇生処置を含む全身管理について，その概念，基本的手技をその背景となる科学的根拠を踏まえ教授する。 （山村健介／２回） 摂食嚥下障害を理解するための解剖・生理・病因病態について最新の知見を踏まえて概説するとともに，摂食嚥下機能を評価するための分析・記録法について演習を交えて教授する。 （葭原明弘／２回） さまざまな健康状態を踏まえた口腔機能の獲得・維持を図るための口腔保健管理手法とその評価・研究法に関し，国内外の文献を解説し，批判的論考を加えることにより，今後の研究課題および研究手法に関する知識・技術を習得する。 （濃野要／２回） 歯周疾患を中心とした口腔疾患の予防管理に関して，その病因および歯周疾患と全身疾患の関連について，最新の研究成果を踏まえ教授するとともに，リスクファクターの分析，予防管理法とその効果の評価について，国内外の文献を解説し，批判的論考を加えることにより，今後の研究課題および研究手法に関する知識・技術を習得する。 （神子島旬子／２回） 地域福祉保健の観点からの地域における実践事例を題材に，口腔保健医療福祉に関わる様々な機関，職種の役割と連携のあり方について，多角的な事例分析を行い，ソーシャルワークの基盤となる理論および研究手法を習得する。	オムニバス方式
	アカデミックリーディング １単位	（ジャン・プレゲンズ／8回） 研究を行う上で不可欠である英論文の読解に習熟するため，スキャニング，スキミング等の英文を迅速かつ正確に読み取る技術を，テキストを題材としたコースワークにより修得する。	

	実践統計学ベーシックコース １単位	（概要） 研究を成功に導くための鍵はプロトコールの内容（研究デザイン）に対する適切な統計手法を理解することにある。本コースでは実際の研究における事例を用いて研究デザインの構築からデータ解析で用いられている統計学的手法の理論を習得させる。 （オムニバス方式／全１６回） （小川祐司ほか／７回） 導入として，対象等に応じた様々な研究事例を提示し，研究デザインの基本的考え方について教授するとともに，基本的な統計処理の概念および手法について，データの入力・集計から統計解析処理までを演習形式で学修する。 （小川祐司／１回） 近年，重要性が増しているヒトを対象とした医学研究の倫理的原則について，各種法令・ガイドラインに基づき概説するとともに，具体的な手続きについて教授する。 （竹原祥子ほか／２回） 実際の研究事例をもとに，研究デザインの妥当性評価について，理論および留意点を教授する。また，近年，重要視されている手法であるシステマッティク・レビューの概念および手法について，実際の研究事例をもとに教授する。 （竹原祥子ほか／６回） 研究プロトコール作成における各ステップ毎の基本的考え方の提示をもとに，学生自ら研究プロトコールモデルを作成し，その発表，検証を通じて研究デザインの構築からデータ解析に至る一連の統計手法を学修する。	オムニバス方式
専門展開科目（４単位以上）	口腔保健管理学特論 ２単位	（概要） 口腔疾患の予防管理に関する最近の知見をふまえた知識・技術を教授するとともに，最新の研究論文等を題材に検討を行うことにより口腔保健管理分野における研究デザイン，評価・解析技法等について理解する。 （オムニバス方式／全１６回） （濃野要・吉羽永子／６回） う蝕，歯周病を中心とした口腔疾患の予防および治療に関する最新の知見を教授するとともに，高齢者・要介護者を中心とした口腔保健管理のための介入法の開発および評価方法について国内外の論文を取り上げながら論究する。 （濃野要／４回） 歯周疾患の病態形成に関する最新の知見を踏まえたリスク分析および全身管理を含めた予防管理法について教授するとともに，歯周病予防管理の評価法や歯周疾患と全身疾患の関連等について国内外の論文を取り上げながら論究する。 （大内章嗣／１回） 介護予防等の観点から注目されている口腔機能低下症・オーラルフレイルについて、現状の取組み状況を踏まえながら、今後の対策の在り方について論究する。 （ステガロユ・ロクサーナ／２回） インプラントを含め，口腔・咀嚼機能のリハビリテーションとしての歯科補綴の理論および実際について教授するとともに，歯科補綴物を長期にわたり適切に機能させていく観点からの口腔保健管理手法の開発および評価法について国内外の論文を取り上げながら論究する。 （葭原明弘／２回） 小児期を中心とした口腔疾患の発症・進行に関与する要因，および予防法に関する最新の知見を教授するとともに，国内外の論文を取り上げながら効果的な口腔保健管理法の開発および評価手法について論究する。 （柴田佐都子／１回） 歯科衛生士が行う口腔保健指導に関し，栄養管理学的側面も踏まえた指導法の理論と実際について教授するとともに，行動科学に基づいた効果的指導法の開発および評価手法についての国内外の論文を取り上げながら論究する。	オムニバス方式

	摂食嚥下機能評価支援学特論 ２単位	（概要） 摂食嚥下機能障害者の評価法，指導訓練法，リスク管理およびチームアプローチの理論と実際について最新の知見をふまえながら教授する。加えて，摂食嚥下障害者に対する支援法の開発および評価手法に関する研究デザイン，評価・解析技法等について論究する。 （オムニバス方式／全１６回） （山村健介／２回） 摂食嚥下の神経制御機構および加齢変化等について最新の論文を交えて解説し，摂食嚥下機能に関する生理学的研究の動向と今後の展望について教授する。 （井上　誠／５回） 摂食嚥下機能障害の評価・診断・治療およびリハビリテーションの背景となる理論と実際について教授するとともに，評価手法や摂食機能訓練法に関する文献について批判的論考を加えることにより，当該分野における研究デザイン，評価・解析技法について論究する。 （小野和宏／４回） 頭頸部領域の先天性疾患や悪性腫瘍により生じた摂食嚥下および言語機能の障害に対する診断・治療・リハビリテーションおよびリスク管理について，その背景となる理論と実際について教授する。加えて，こうした患者に対する口腔保健管理・支援法に関する国内外の文献を取り上げながらその研究手法等について論究する。 （葭原明弘／３回） 摂食嚥下障害児の摂食嚥下機能に対する評価・診断等およびリハビリテーションの理論と実際について教授するとともに，心理的・社会的支援を含めた口腔保健管理の実践例を紹介し，今後の研究の課題と方法について論究する。 （大湊　麗／２回） 言語聴覚士が行う言語・摂食嚥下障害患者に対する治療・リハビリテーションの背景となる理論と業務実際について最新の知見を交え概説するとともに，実例を提示しながら言語聴覚士からみたチームアプローチの現状と課題について教授する。	オムニバス方式
	口腔保健福祉援助学特論 ２単位	（概要） に対する保健医療福祉を通じた総合的な援助（口腔保健福祉援助）を展開していく観点から，こうした対象者の症例分析等を通じて現状と課題を明らかにするとともに，対象者のニーズ把握，効果的援助方法の開発およびその評価法等に関する研究デザイン，評価・解析技法等について検討，理解する。 （オムニバス方式／全１６回） （神子島旬子、米澤大輔／６回） 口腔や摂食嚥下に問題を抱える要介護者，障害者，有病者等の現状と課題について理解するとともに、こうした対象者に対する口腔保健福祉援助（医療ソーシャルワークを含む）を行う際の理論と実践について実例を交えながら教授する。加えて，こうした対象者のニーズ把握に関する質的研究を中心とした国内外の論文を解説し，援助法の開発および評価に関する研究手法について論究する。 （神子島旬子、松本明日香／５回） 要介護者・障害者がおかれている環境とその背景，これらの対象者が抱える課題について実態調査，症例報告等を交えながら概説する。その上で，こうした対象者の健康福祉を実現していくための公的・民間セクターの取組とそのなかで歯科保健医療関係者が果たしている役割について，関係論文，報告書を提示・検証しながら，現状と今後の課題について検討する。 （柴田佐都子／２回） 摂食嚥下障害を有する患者等に対する歯科衛生士の業務の実際とチームアプローチについて概説するとともに，歯科衛生士が行う口腔ケアが摂食嚥下障害患者等の口腔機能および生活の質の向上にどのような役割を果たしているか，関係論文を提示しながら論究する。	オムニバス方式

		（大内章嗣／3回） 地域包括ケア体制の構築に関する現状と課題について事例や文献、調査報告等を提示しながら、体制の構築に向けた社会福祉士の役割について検討する。併せて、地域包括ケアにおける歯科保健医療の果たすべき役割・効果と課題について、関係文献を提示し，批判的論考を加えることにより，今後の研究手法等について検討する。	
	地域口腔保健福祉学特論 ２単位	（概要） 地域社会の特性に基づいた口腔保健福祉活動・施策を推進していく観点から，地域福祉・保健に関する概念，理論および制度等について教授するとともに，地域ニーズの把握，地域ネットワークの形成，施策選択の意志決定過程，評価手法等に関する事例や文献等を踏まえながら論究する。 （オムニバス方式／全１６回） （米澤大輔／４回） 主に地域福祉の観点から，社会的弱者を含めた住民の生活・健康を守っていこうとする取組について，その歴史的経緯，背景となる理論・手法を含め概説するとともに，社会心理学的側面からの支援方策の開発および評価手法についての文献および実践例等を提示し，検討を加える。 （大内章嗣／３回） 口腔保健福祉提供の基盤としての歯科保健医療専門職および介護・福祉職，医療施設や介護・福祉施設等の歴史的経緯・役割，動態，経済状況，ニーズとのマッチング状況等について概説する。こうした理解に立脚したうえで，地域における口腔保健福祉活動の展開のためのネットワークづくりについて事例報告や文献をもとに吟味しながら論究する。 （黒川孝一／３回） 地域口腔保健活動の背景となる概念・理論およびその取組の実際について，国際的見地からみた我が国の現状を含めて概説する。加えて，口腔保健活動の効果的介入法の開発・評価に関する文献を提示し，検証を加えることにより，今後の研究手法等について考察する。 （黒川孝一／６回） 在宅要介護者・施設入所者の口腔問題に関する実態調査を端緒として，これに対応するための取組がどのように意志決定・展開されたのか，文献や報告書を踏まえながら検討を加え，地域保健福祉の観点からの課題を明らかにする。また，その成果がどのように評価されているか，当該文献等を題材に批判的論証を加え，より効果的な介入方法の開発等に関する研究手法について論究する。	オムニバス方式
	アカデミックライティング ２単位	（ジャン・プレゲンズ／８回） センテンスレベルから始め，最終的には論文の形式に則した英文が記述できるよう段階的なコースワークにより，適切な英論文を執筆する能力を修得する。	
	アカデミックリーディングⅡ １単位	（ステガロユ・ロクサーナ／８回） 口腔保健福祉分野に関連した英文を題材に，個別的なコースワークにより専門用語・表現を中心に英論文読解力の習熟を図る。	

科目	授業科目の名称・単位	講義等の内容	備考
研究指導（4単位）	口腔保健福祉学特定研究 4単位	他の専門展開科目等の習得を進めるなかで，口腔保健福祉学に関する研究テーマを設定し，関連文献の調査，倫理的配慮に基づいた研究計画・研究手法の設定，分析法等の指導を段階的に行いながら，研究フィールドにおける調査や実験等により得られた研究結果を分析・考察し，最終的に研究論文の作成に至るまでの指導を行う。 （濃野要） う蝕や歯周疾患、歯の喪失が全身に及ぼす影響について，これまでの疫学研究を調査・検討し，その意義及び問題点を抽出する。その上で因果関係を明らかにするために必要な研究方法を考察するとともに，実際に行われている研究の疫学的背景，生物学的意義を理解するための研究課題を設定し，研究指導を行う。 （小野和宏） 口唇口蓋裂をはじめとした先天奇形を有する患者および両親等を対象とした効果的な口腔保健管理および心理社会的サポートの開発に関し，患者および両親等の受容意識や適応パターンの分析，多職種間の望ましい連携の在り方，治療計画立案への患者および両親等の参画とその効果を中心に研究課題を設定し，研究指導を行う。 （吉羽永子） 根面う蝕を含むう蝕の発生機序および予防管理に関する基礎・臨床両面にわたるこれまでの研究を調査・検討し、その意義及び問題点を理解する。その上で、高齢者、障がい者等の特性・社会背景を考慮したう蝕の発生、再発予防のための効果的な手法の開発、リスク評価等について研究課題を設定し、研究指導を行う。 （葭原明弘） 医療・保健・福祉領域の関連をさらに発展させるため，福祉領域における口腔保健活動の及ぼす効果について，社会的・環境的要因にも着目しながら，歯科的関与の可能性について倫理的配慮に基づいた研究計画の設定，フィールドにおける調査研究方法や結果の分析方法について研究指導を行う。 （大内章嗣） 地域住民および要介護高齢者等の特定集団を対象とした摂食・口腔機能維持向上のための効果的介入方策の開発に関し，受け手側である住民等および提供者である保健医療福祉従事者等の意識・行動パターン分析，多職種間の連携を促進するためのツール開発とその評価，社会資源・経済面を含めた費用対効果を中心とした研究課題を設定し，研究指導を行う。 （ステガロユ・ロクサーナ） 歯を喪失した場合，インプラントを含む各種歯科補綴装置の適用により，咬合・咀嚼機能の維持・回復が図られており，高齢者の健康保持に重要である。こうした補綴装置を長期にわたり適切に機能させていくために重要となる口腔内各組織への力学的影響を検証し，咬合・咀嚼機能の面から補綴装置の長期維持管理を阻害するリスク要因を簡易に検出する手法の開発等に関する研究指導を行う。	演習・実験・実習の各時間数は，個々の研究指導計画に基づく

		（黒川孝一） 地方自治体における生活習慣病対策の経験を礎に，生活習慣病予備軍に対する口腔保健管理と生活習慣病予防対策の相乗効果を期待するプログラムの開発，他職種との連携による効果的介入方策について検討し，実践，解析，成人期における中短期的医療経済効果の検証，評価を中心とした研究課題を設定し，研究指導を行う。 （柴田佐都子） 原因疾患，ライフステージ等様々な背景を有する摂食・嚥下障害者を対象に，口腔衛生状態の維持に影響する要因について，環境や職種連携を含めた多面的な視点から分析・検討するとともに，これら対象別要因分析に基づいた口腔保健・口腔機能の維持向上のための効果的指導法の開発と評価に関する研究課題を設定し，研究指導を行う。 (中村健) 貧困の概念、貧困に対する制度・政策の発展、貧困問題の背景や要因について、これまでの研究を調査・検討することで多角的に理解を深める。その上で、福祉事務所等の貧困に対する支援を行う関係機関や、従事する専門職に求められる役割、他機関や他分野との連携による支援の在り方などを中心に研究課題を設定し，研究指導を行う。 (米澤大輔) 医療・福祉の観点から，児童や高齢者を対象とし，疫学研究および質的研究を主体に調査・研究を実施することで，その問題点を抽出する。医療および福祉における質的なデータから抽出された新たな課題から，疫学的背景を検討するとともに，対象者への保健指導や健康評価の開発等に関する研究指導を行う。	